

のろし 狼煙を見よう

主催 山の手未来の会

協力 焼津観光案内人の会

日時

2024年11月3日 (文化の日)

場所

高草山の中腹 方ノ上城址 (石合山)

備考

現地見学可 徒歩で山登り

(山の手会館から約1時間：案内人が7:30出発)

〈方ノ上城は、どのような城だったのか〉



方ノ上城は1504～1521年に建てられ、駿河国の西の守りとして築かれたと考えられている。その後、花倉の乱では、花倉城を守る城として機能した。また、掘割や曲輪など、当時の人々の、敵を攻め込ませないような知恵と工夫がされている。

〈花倉の乱とは〉

今川家の家督相続争いの一つ。
今川氏親の後継ぎである、今川氏輝が急死。
その弟も、同じ日に死亡してしまった。そのため、僧になっていた、氏輝の弟と、梅岳承芳(のちの、今川義元)の間で起こった戦いである。



一男



二男



四男



五男(今川義元)

〈狼煙とは〉

名前の由来は、「狼のように強い狼煙を上げよう」という思いで、オオカミの糞を火種にして狼煙を上げたから。方ノ上城では、花倉城に情報を伝える手段として使われた。

担当： 平野心湊 川合麻夢 油井海龍